

UB-Xa

Classic Analog 16-Voice Multi-Timbral Polyphonic Synthesizer with 8 Vintage Modes, Dual VCFs and 61-Key Poly After-Touch Keyboard

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

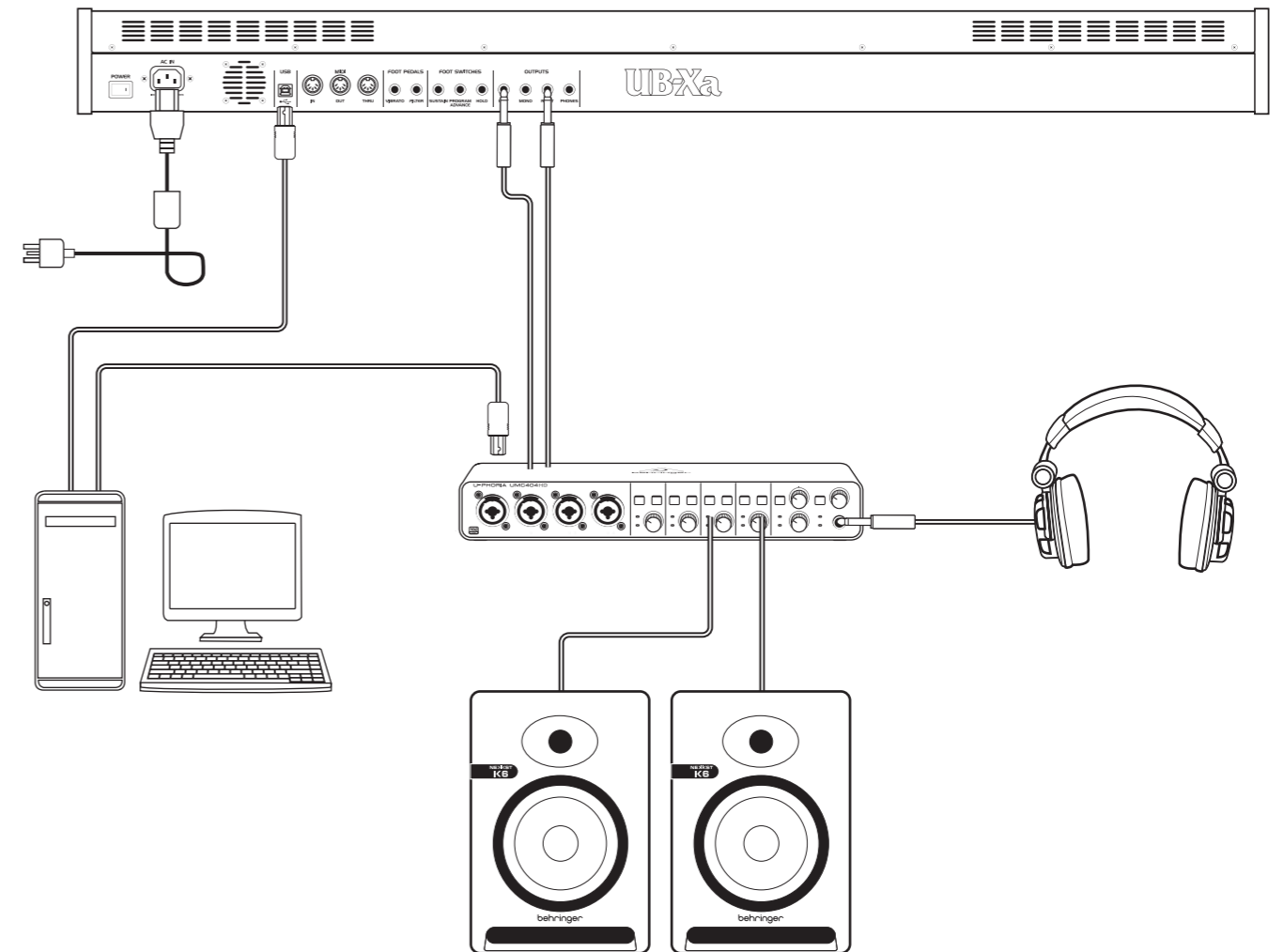
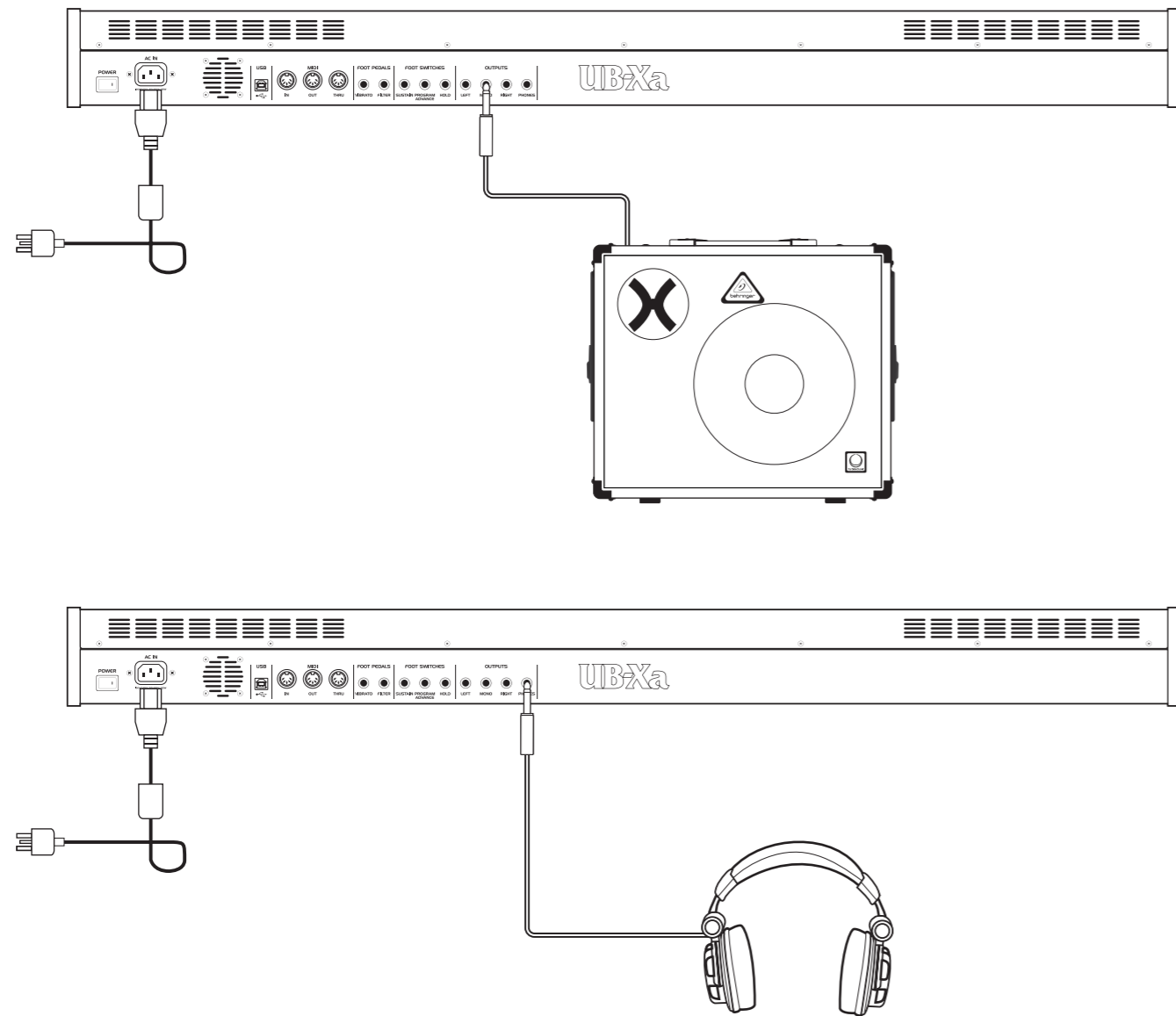
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

UB-Xa フックアップ

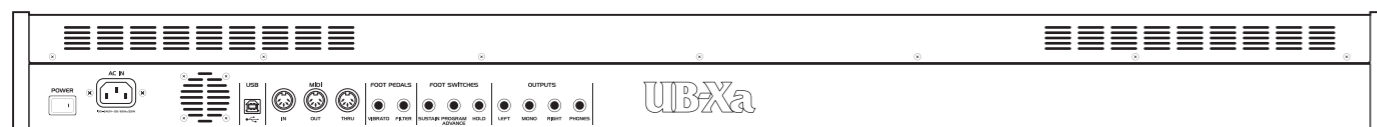
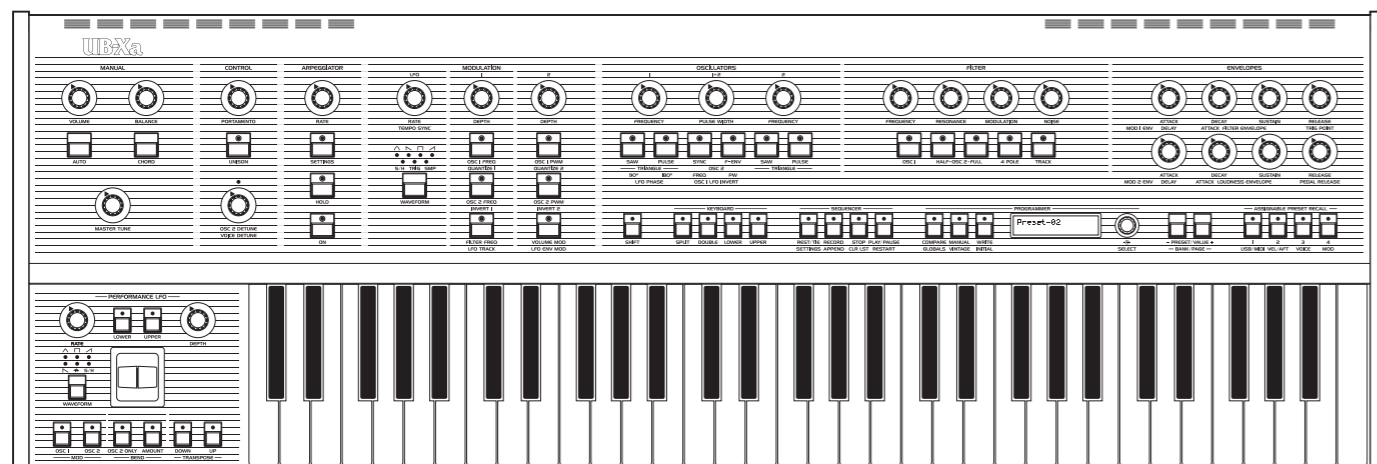
JP

ステップ 1: フックアップ



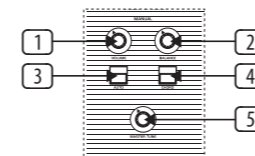
UB-Xa コントロール

JP



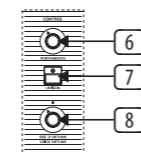
ステップ 2: コントロール Arpeggiator (アルペジエーター)

Manual (マニュアル)

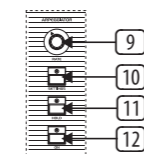


- 1 **VOLUME (音量)** – マスター音量 0% - 100%.
- 2 **BALANCE (バランス)** – スプリットまたはダブルプログラムで、2つのパッチ間のレベルを調節します。
- 3 **AUTO (オート)** – 押してチューニングの状態を確認します。チューニングはバックグラウンドで実行されます。
- 4 **CHORD (コード)** – コードをホールドしてから CHORD を押します。任意のノートを押すとコードをプレイし、ノートに応じて移調もします。上部および下部で、独立で機能します。
- 5 **MASTER TUNE (マスターチューン)** – 全体のチューニングを調節します。

Control (コントロール)

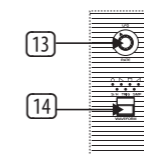


- 6 **PORTAMENTO (ポルタメント)** – 各ボイスのピッチ変更の際の、ポルタメントのレートを決定します。ポルタメントはポリフォニックで、各ボイスは独立でノートからノートへとグライドしますのでご注意ください。
- 7 **UNISON (ユニゾン)** – オンにすると、全ボイスを1つのキーでプレイします。このモードでは、UB-Xa では最も低いノートが優先になります。Split (スプリット) モードでは、Unison 機能はキーボードの2つのレイヤーで独立となります。
- 8 **OSC 2 DETUNE (オシレーター2デチューン)** – オシレーター2のデチューンです。つまみが中央位置の時にLEDが点灯します。



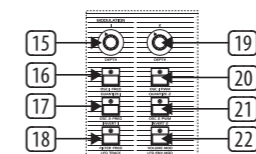
- 9 **RATE (レート)** – 内部シンク有効時、アルペジエーターのスピードを 40 - 240 BPM の間で設定します。
- 10 **SETTINGS (設定)** – アルペジエーター設定メニューに入ります。
- 11 **HOLD (ホールド)** – 1度のプレイでアルペジエーターのコードがホールドされるようにします。
- 12 **ON (オン)** – アルペジエーターをオン/オフします。

LFO



- 13 **RATE (レート)** – LFO のスピードを設定します。
- 14 **WAVEFORM (波形)** – ここを押して、6種類の波形から1つを選択します: サイン波、ノコギリ波、スクエア波、スクエア波、S/H (サンプルアンドホールド)、TRIG (トリガー - LFO キーシンク、長押しして有効化) および SMP (サンプルド ビブラート、このモードでは LFO をパフォーマンスパネルでサンプルし、異なる波形およびスピードに設定できます)。

Modulation (モジュレーション)

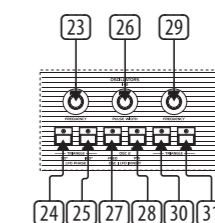


- 15 **MOD 1 DEPTH (モジュレーション1デプス)** – 後述の送信先スイッチ (15, 16, 17) へ送信する、モジュレーションの深さを制御します。
- 16 **OSC 1 FREQ (オシレーター1周波数)** – MOD CH 1 (モジュレーションチャンネル1) を OSC 1 FREQ にルートします。
- 17 **OSC 2 FREQ (オシレーター2周波数)**

– MOD CH 1 を OSC 2 FREQ にルートします。

- 18 **FILTER FREQ (フィルター周波数)** – MOD CH 1 をルートし、フィルターカットオフポイントを変調させます。
- 19 **MOD 2 DEPTH (モジュレーション2デプス)** – 後述のスイッチ (20, 21, 22) から送信する先の、モジュレーションの深さを制御します。
- 20 **OSC 1 PWM (オシレーター1パルス幅モジュレーション)** – MOD CH 2 をルートして、OSC 1 PWM を変調させます。
- 21 **OSC 2 PWM (オシレーター2パルス幅モジュレーション)** – MOD CH 2 をルートして、OSC 2 PWM を変調させます。
- 22 **VOLUME MOD (音量モジュレーション)** – MOD CH 2 をルートして、VCA レベルを変調させます。

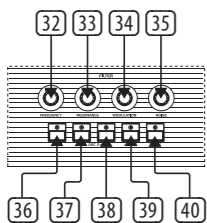
Oscillators (オシレーター)



- 23 **OSC 1 FREQUENCY (オシレーター1周波数)** – オシレーター1の周波数をオクターブ単位で、3オクターブの範囲で調節します。
- 24 **SAW (ノコギリ波)** – オシレーター1のノコギリ波をオンに切り替えます。
- 25 **PULSE (パルス波)** – オシレーター1のパルス波をオンに切り替えます。Saw および Pulse をオフにすると、三角波が生成されます。
- 26 **OSC 1+2 PULSE WIDTH (オシレーター1+2パルス幅)** – 両オシレーターのパルス幅を調節します。
- 27 **SYNC (同期)** – OSC 2 を OSC 1 の倍音にロックします。
- 28 **F-ENV (フィルターエンベロープ)** – フィルターエンベロープにより OSC 2 の周波数を変調させるスイッチです。
- 29 **OSC 2 FREQUENCY (オシレーター2周波数)** – オシレーター2の周波数を、半音刻みで5オクターブの範囲で調節します。
- 30 **SAW (ノコギリ波)** – オシレーター2のノコギリ波をオンに切り替えます。

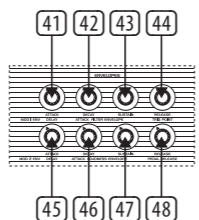
- 31 **PULSE (パルス波)** – オシレーター 2 のパルス波をオンに切り替えます。Saw および Pulse を同時使用する場合は両方を押します。Saw および Pulse の両方をオフにすると、三角波になります。

Filter (フィルター)



- 32 **FREQUENCY (周波数)** – ローパスフィルターのカットオフ周波数を調節します。
- 33 **RESONANCE (レゾナンス)** – フィルターのレゾナンスを調節します。カットオフ周辺の周波数を強調する機能です。
- 34 **MODULATION (モジュレーション)** – Envelope (エンベロープ) で設定したフィルターに適用するモジュレーションの量を制御します。
- 35 **NOISE (ノイズ)** – 使用するノイズの量を調節します。0% - 100%。
- 36 **OSC 1 FILTER (オシレーター 1 フィルター)** – OSC 1 からフィルターへの出力のオン/オフを切り替えます。
- 37 **HALF OSC 2 (ハーフ オシレーター 2)** – Half スイッチでは、OSC 2 の信号を、フル出力より約 5 dB 低くフィルターへ出力します。
- 38 **FULL OSC 2 (フル オシレーター 2)** – Full スイッチでは、OSC 2 の信号をフィルターへフル出力します。
- 39 **4 POLE (4 極)** – 2 極式 (12 dB スロープ) ローパスフィルターを 4 極式 (24 dB スロープ) へと切り替えます。4 極式フィルターはスロープがより急になっており、スロープが浅い 2 極性に比べて、高域を劇的にカットオフします。
- 40 **TRACK (トラック)** – フィルターの周波数コントロール入力に、キーボードポルテージを適用するか否かを決定します。

Envelopes (エンベロープ)



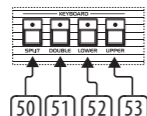
- 41 **ATTACK (アタック)** – フィルターエンベロープのアタックタイムを制御します。
- 42 **DECAY (ディケイ)** – フィルターエンベロープのディケイタイムを制御します。
- 43 **SUSTAIN (サステイン)** – フィルターエンベロープのサステインレベルを制御します。
- 44 **RELEASE (リリース)** – フィルターエンベロープのリリースタイムを制御します。
- 45 **ATTACK (アタック)** – ラウドネスエンベロープのアタックタイムを制御します。
- 46 **DECAY (ディケイ)** – ラウドネスエンベロープのディケイタイムを制御します。
- 47 **SUSTAIN (サステイン)** – ラウドネスエンベロープのサステインレベルを制御します。
- 48 **RELEASE (リリース)** – ラウドネスエンベロープのリリースタイムを制御します。

その他のコントロール



- 49 **SHIFT (シフト)** – シフト機能を使用する際に押します。

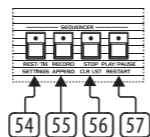
Keyboard (キーボード)



- 50 **SPLIT (スプリット)** – キーボードを分割することで、2 つのパッチを同時使用できます。分割ポイントは、SPLIT ボタンを押しながら、任意の分割場所のキーを選択し決定します。押したキーが、上部キーボードの最低キーとなります。1 つのサウンドとして、または異なる MIDI チャンネルを設定しプレイします。

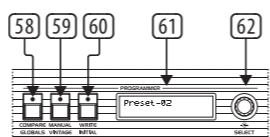
- 51 **DOUBLE (ダブル)** – 2 つのパッチを重ねます。
- 52 **LOWER (ローワー)** – 下部パッチを選択し、編集します。
- 53 **UPPER (アッパー)** – 上部パッチを選択し、編集します。

Sequencer (シーケンサー)



- 54 **REST/TIE (レスト/タイ)** – ノートにタイをかけます。またはシーケンスに空白のステップを追加します。
- 55 **RECORD (レコード)** – このボタンを押してレコーディング状態にし、シーケンスにノートデータを付加します。
- 56 **STOP (停止)** – 動作しているシーケンサーを停止します。
- 57 **PLAY/PAUSE (プレイ/一旦停止)** – 押してシーケンスをプレイ、または一旦停止します。

Programmer (プログラマー)

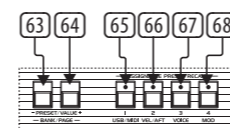


- 58 **COMPARE (比較)** – 押すと、元々保存されていたパッチと変更後のパッチを比較します。
- 59 **MANUAL (マニュアル)** – Manual モードでは、コントロール類の物理的な設定がシンセサイザーのサウンドに反映します。Manual モードは Split または Double モードの際にのみ、選択中の上部または下部キーボードのサウンドに使用できます。
- 60 **WRITE (書き込み)** – 押して、パッチを保存します。Select (セレクト) コントロールを使用して保存先を選択し、Select を押して確定します。Write を長押しして、スプリットまたはダブルプログラムを保存し、それから Select コントロールを使用して保存先を選択し、Select を押して確定します。
- 61 **LCD ディスプレイ** – 2 x 16 文字の LCD ディスプレイ。
- 62 **SELECT (セレクト)** – 回転式エンコーダーを回して値を調節し、押して各機能に入ります。
- 63 **PRESET/VALUE (プリセット/値)** –

1 ずつ値を下げます。

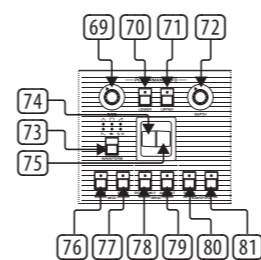
- 64 **+ PRESET/VALUE (+プリセット/値)** – 1 ずつ値を上げます。

Assignable preset recall (アサインナブル プリセットリコール)



- 65 **1** – 1+2+3+4 をホールド、またはこれらのボタンの組み合わせで、各機能にアクセスします。シフトボタンを押してからプリセット 1 を押して、USB/MIDI メニューに入ります。
- 66 **2** – 1+2+3+4 をホールド、またはこれらのボタンの組み合わせで、各機能にアクセスします。シフトボタンを押してからプリセット 2 を押して、ペロシティまたはアフタータッチメニューに入ります。
- 67 **3** – 1+2+3+4 をホールド、またはこれらのボタンの組み合わせで、各機能にアクセスします。シフトボタンを押してからプリセット 3 を押して、ボイスメニューに入ります。
- 68 **4** – 1+2+3+4 をホールド、またはこれらのボタンの組み合わせで、各機能にアクセスします。シフトボタンを押してからプリセット 4 を押して、MOD (モジュレーション) メニューに入ります。

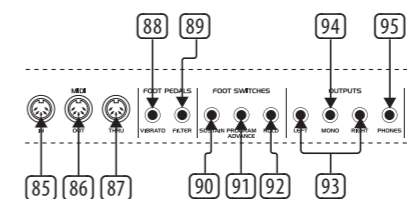
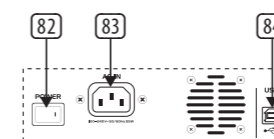
モジュレーションパネル



- 69 **RATE (レート)** – LFO のスピードを設定します。
- 70 **LOWER (下部)** – 下部レイヤーの LFO を有効にします。
- 71 **UPPER (上部)** – 上部レイヤーの LFO を有効にします。
- 72 **DEPTH (デプス)** – LFO の深さを設定します。
- 73 **WAVEFORM (波形)** – ここを押して 7 種類の波形の中から 1 つを選択します: 三角波、スクエア波、逆ノコギリ波、ノコギリ波、ランダムまたは S/H (サンプリングアンドホールド)。

- 74 **モジュレーションレバー** – 両オシレーターに付加するビブラートの量を制御します。
- 75 **ピッチベンドレバー** – プレイしているノートのピッチベンドに使用するコントロールです。コントロールを前に動かすとピッチが上がります。コントロールを後ろ側に戻すとピッチが下がります。
- 76 **OSC 1 MOD (オシレーター 1 モジュレーション)** – OSC 1 ピッチの制御を、パフォーマンス LFO を通じてオンにします。
- 77 **OSC 2 MOD (オシレーター 2 モジュレーション)** – OSC 2 ピッチの制御を、パフォーマンス LFO を通じてオンにします。
- 78 **OSC 2 ONLY (オシレーター 2 のみ)** – このスイッチをオンにすると、ピッチベンドレバーの操作で各ボイスのオシレーター 2 のみをベンドします。この機能ではオシレーター 2 とシンクしているプログラムに対し、面白い効果が得られます。スイッチをオフにすると、ピッチベンドレバーは各ボイスの両オシレーターを制御します。
- 79 **AMOUNT (量)** – ピッチベンドレバーの範囲を制御するスイッチです。オンの位置では、ピッチベンドレバーは 1 ステップを上下します。オフの位置では、ピッチベンドレバーはピッチを 1 オクターブ上下します。
- 80 **TRANSPOSE DOWN (下方トランスポーズ)** – 1 回押すごとに、キーボードを 1 オクターブ下げます。Shift (シフト) モードでは半音が使用されます。
- 81 **TRANSPOSE UP (上方トランスポーズ)** – 1 回押すごとに、キーボードを 1 オクターブ上げます。Shift (シフト) モードでは半音が使用されます。

背面パネル



- 82 **POWER (電源)** – UB-Xa の電源をオン/オフします。

- 83 **AC IN (AC 入力)** – 標準 IEC ケーブルで、AC100 - 240 V の電源に接続します。
- 84 **USB** – 標準 USB ケーブルでコンピューターに接続します。
- 85 **MIDI IN (MIDI 入力)** – シーケンサーや DAW 等の外部 MIDI 機器より MIDI を入力します。
- 86 **MIDI OUT (MIDI 出力)** – 外部 MIDI 機器へ MIDI データを出力します。
- 87 **MIDI THRU (MIDI スルー)** – MIDI IN から入力したデータをダイレクトに、別の機器に出力します。
- 88 **VIBRATO (ビブラート)** – ビブラートフットペダル用の入力端子です。プログラムされたビブラートを、プログラムで現在定めている量の範囲で、オフ最大まで制御します。
- 89 **FILTER (フィルター)** – マスター フィルターフットペダル用入力です。全フィルターのカットオフ周波数を移動できます。
- 90 **SUSTAIN (サステイン)** – サステインフットスイッチ用の入力端子です。有効時は、両エンベロープのリリースパラメーターを、各パッチでプログラムした量に設定します。ペダルのサステインタイムは、前面パネルで設定されているエンベロープのリリースタイムと同一の範囲となります。Double または Split モードでは、両パッチ共、個別にプログラムされたペダルサステインタイムで音が消失します。
- 91 **PROGRAM ADVANCE (プログラムアドバンス)** – プログラムアドバンスフットスイッチのための入力端子です。有効時、プログラムを次のプログラムへと前進させます。たとえば A5 を選択している場合、スイッチを押すと、プログラマーが A6 プログラムへと進みます。
- 92 **HOLD (ホールド)** – ソステノートホールド効果を使用する際のペダル入力です。
- 93 **LEFT/RIGHT (左/右)** – ¼ インチ (6.35 mm) TRS コネクターのメイン出力。
- 94 **MONO (モノラル出力)** – ¼ インチ TRS コネクターのモノラル出力。
- 95 **PHONES (ヘッドフォン出力)** – ヘッドフォンを ¼" インチ TRS コネクターで接続します。

UB-Xa はじめに

ステップ 3: はじめに

概要

このスタートアップガイドでは、UB-Xa のセットアップ方法と、その機能を簡潔にご紹介します。

接続

UB-Xa をお使いのシステムに接続する際は、本ガイド前半に記載されている接続例をご参照ください。

ソフトウェアセットアップ

UB-Xa は USB クラスコンプライアント MIDI 機器のため、ドライバのインストールは不要です。Windows および MacOS で UB-Xa を使用する場合、追加のドライバは不要です。

ハードウェアセットアップ

システム内の接続をすべておこないます。接続作業の際は、UB-Xa の電源はオフのままにしておいてください。

サウンドシステムの電源がオフになっていることをご確認ください。

パワーアンプリファァーより先に UB-Xa の電源をオンにし、電源を落とす時には最後にオフにしてください。そうしていただくと、スピーカーへのポップノイズや衝撃音を防ぐことができます。

ウォームアップ時間

電源をオンにした後、UB-Xa をレコーディングやライブパフォーマンスにご使用になる前に、15 分以上のウォームアップ時間を設けてください (低温の場所から運び込んだ場合はさらに延長してください)。それにより精密回路が通常使用温度に達する時間を確保でき、精確な性能が発揮できます。

ファームウェアアップデート

当社ウェブサイト behringer.com を定期的にご覧になり、Behringer Synth tool app のアップデート情報をご確認ください。

アプリ自体が最新版ファームウェアファイルを検知し、ダウンロードおよび UB-Xa のアップデートをおこないます。

SPLIT/DUAL (スプリット/デュアル) モード SPLIT モードを押すと、キーボードが、スプリットポイントを境に上部 (UPPER) パッチと下部 (LOWER) パッチに分かれます。スプリットノートはいずれの場所にも変更可能です。各セクションの MIDI チャンネルは、同一のチャンネルにも、異なるチャンネルにも設定できます。

スプリットポイントの変更は、SPLIT をホールドして任意のキーを押します。押したキーが、上部キーボードの最低キーとなります。

DUAL モードでは 2 つのパッチをお互いに重ねることができます。

それぞれに同一か、または独立の MIDI チャンネルを割り当て、外部 MIDI 対応機器から UB-Xa をトリガーできます。

SHIFT (シフト) 機能

VOICE DETUNE (ボイスデチューン)

全ボイスを互いに対し 4 アップ、4 ダウンデチューンします。コントロールの上に位置する LED がオンの時に、ボイスがデチューンされます。ゼロデチューンにするには、Voice Detune コントロールを反時計回り方向いっぱいに回します。

QUANTIZE (クオンタイズ) 1

LFO のスイープを半ステップクオンタイズし、OSC 1 FREQUENCY (周波数)、OSC 2 FREQUENCY および FILTER FREQUENCY (フィルター周波数) に作用します。

QUANTIZE (クオンタイズ) 2

LFO のスイープを半ステップクオンタイズし、OSC 1 パルス幅 (PW)、OSC 2 パルス幅 および VOLUME MOD (音量モジュレーション) に作用します。

INVERT 1 & 2 (インバート 1 & 2)

これらのスイッチを押すと LFO エンベロープをインバート (反転) します。Invert 1 は OSC 1 FREQUENCY (周波数)、OSC 2 FREQUENCY および FILTER FREQUENCY (フィルター周波数) に作用します。Invert 2 は OSC 1 PULSE WIDTH (パルス幅)、OSC 2 PULSE WIDTH および VOLUME MOD (音量モジュレーション) に作用します。INVERT をオフにすると、LFO は各ノートをゼロモジュレーションから開始し、付随する DEPTH (デプス) コントロールで設定したデプスを、Delay および Attack タイムコントロールで設定したタイムにしたがって増幅させます。

Invert をオンにすると、LFO は各ノートの変調を、DEPTH (デプス) コントロールで設定したデプスから開始し、Delay および Attack タイムコントロールで設定したタイムで、ゼロモジュレーションまで減小させます。

WAVEFORM (波形)

長押しすると TRIG (トリガー) モードをオン/オフします。キーを押すごとにエンベロープが再トリガーされます。

LFO TRACK (LFO トラック)

LFO のレートに、キーボードの $\frac{1}{4}$ を付加します。LFO スピードはキーボードの 4 オクターブごとに倍になります。

LFO ENV MOD

(LFO エンベロープモジュレーション)

LFO エンベロープモジュレーションのオン/オフです。LFO 2 エンベロープのエンベロープを切り替えて LFO のレートを制御します。LFO 2 の Depth でモジュレーション量を制御します。このスイッチをオンにすると、Delay 2、Attack 2 および Invert 2 が LFO のレートに作用します。

LFO PHASE 90° 180° (LFO 位相 90° 180°)

LFO に位相オフセットを付加するスイッチです。90 はサイクルの $\frac{1}{4}$ を、180 はサイクルの $\frac{1}{2}$ を付加します。

OSC 1 LFO INVERT FREQ/PW (オシレーター 1 LFP 反転 周波数/パルス幅)

OSC 1 Frequency (周波数) および Pulse Width (パルス幅) の LFO コントロールを反転します。

SETTINGS (設定)

シーケンサー設定: ノート長、同期、ゲート およびスイング。

APPEND (アペンド)

元の設定を削除することなく、あらかじめレコーディングしたシーケンスを延長する際に使用する機能です。

CLR LST (最後のノートを消去)

シーケンスの最後のノートを消去します。

RESTART (リスタート)

シーケンサーをスタート地点に戻します。

GLOBALS (グローバル)

グローバル環境設定。

VINTAGE (ビンテージ)

ビンテージ萎縮設定。

INITIAL (初期化)

全パラメーターを初期値にリセットします。

MOD 1 & 2 DELAY (モジュレーション 1 および 2 ディレイ)

LFO のエンベロープの遅延時間を設定します。ディレイの範囲は 0 から最大 3.5 秒の間です。ディレイは毎回新規ノートをプレイするたびにリセットされます。Mod 1 は OSC 1 FREQUENCY (周波数)、OSC 2 FREQUENCY および FILTER 周波数に作用します。Mod 2 は OSC 1 PULSE WIDTH (パルス幅)、OSC 2 PW および 音量モジュレーション (MODURATION) に作用します。

MOD 1 & 2 ATTACK (モジュレーション 1 および 2 アタック)

LFO のエンベロープのアタックタイムを設定します。アタックタイムの範囲は 0 - 最大 3.5 秒です。アタックは毎回新規ノートをプレイするたびにリセットされます。Mod 1 は OSC 1 FREQUENCY (周波数)、OSC 2 FREQUENCY

および FILTER 周波数に作用します。Mod 2 は OSC 1 PULSE WIDTH (パルス幅)、OSC 2 PW および 音量モジュレーション (MODURATION) に作用します。

MOD 1 TRIG POINT (モジュレーショントリガーポイント)

トリガー波形は、TRIG POINT コントロールを回して、再トリガーをサイクルのいずれの地点にも設定できます。

PEDAL RELEASE (ペダルリリース)

フィルターおよび音量エンベロープに異なるリリース値を設定する場合に使用します。

BANK/PAGE (バンク/ページ)

バンクまたはページの位置を変更します。

USB/MIDI SETTINGS (USB/MIDI 設定)

USB および MIDI ポートの MIDI チャンネルを設定します。Normal/Upper (ノーマル/アップパー)、Split (スプリット) または Double (ダブル) 。また、ローカルオフモードでキーボードをオフにします。

VEL/AFT Settings (ベロシティ/アフタータッチ設定)

このメニューには、多様なベロシティおよびアフタータッチモードの設定があります。

VOICE (ボイス)

ボイス抑制の設定、個別定位および Atrophy (衰微) パラメーターを包含しています。

MOD (モジュレーション)

上部レイヤーおよび下部レイヤー両方のモジュレーションマトリックスです。送信先へのソース割り当てができますが、同じレイヤーからである必要があります (上部または下部)。

Assignable Preset recall (アサインナブル プリセットリコール)

4 つあるアサインナブル プリセットリコールボタンで、お好みのパッチを即座に呼び出すことができます。パッチの割り当て方法は:

- 割り当てたいパッチを選択します。
- パッチを割り当てたい番号をホールドします (最大でボタン 4 つの組み合わせ)。
- “Write” (書き込み) を押して確定します。

注意: 全 4 つのボタンを様々に組み合わせ、最大 15 種類のパッチロケーションを呼び出しできます。たとえば、1 を長押ししながら 4 を一緒に押し、次に “WRITE” (書き込み) を押します。次に 1 を長押しすると、同じパッチが呼び出されます。単に 1 または 4 のみをホールドした場合は、異なるパッチロケーションとなります。

パッチ機能

パッチの保存

- 書き込みを押します
- +/- ボタンを使用して店舗の廃止を選択します
- パッチの名前を変更する場合は、エンコーダーの選択を押します
- 選択エンコーダーを使用して文字をスクロールし、+/- ボタンを使用してパッチ名をスクロールします。
- もう一度[書き込み]を押します
- 選択エンコーダーを使用して確認またはキャンセルする
- [書き込み] を押してパッチを保存します

シーケンサー機能

UB-Xa には 32 x 128 ステップのポリフォニックシーケンスがあります。Arpeggiator Rate (アルペジエーターレート) コントロールを使用して、シーケンサーのテンポを調節します。SHIFT と SEQUENCER SETTINGS (シーケンサー設定) を押して、シーケンスのノートおよびゲートの長さを調節します。

シーケンスのレコーディング:

- RECORD を押します。
- +/- を押して、任意のシーケンスの開始地点に移動するか、STOP を押して現在のシーケンスの開始地点に戻ります。
- ノートまたはコードを押します; 各ステップをプレイすること、ステップインジケーターが上がります。休符またはタイはそれぞれのボタンを押して入力します。
- 誤入力してしまった場合は、SHIFT と CLR LST を押して最後のステップを消去します。
- 入力し終わったら RECORD を押すと、シーケンスが開始します。

シーケンスの保存:

- シーケンスを保存する場合は “WRITE” を押します。
- SELECT エンコーダーを押してシーケンス番号を確定します。

注意: シーケンスをレコーディングし終わった際、STOP (停止) を押すと現在のシーケンスのプレイを終了します。シーケンスをレコーディングし直す場合は、RECORD を押してレコーディングモードに入ります。もしノートをプレイしていない状態で再度 RECORD を押した場合は、その前にレコーディングしたシーケンスに戻ります。ノートをプレスすると、全体のシーケンスを消去し冒頭から開始します。

ペダル入力

3 つのスイッチおよび 2 つの CV ペダルは全て、デフォルト割り当てからフルに割り当てることができます。割り当てはグローバル設定メニューよりおこないます。

ファクトリー プリセット リストア

- SHIFT を押してから、GLOBALS を押します。
- SELECT コントロールを FACTORY DEFAULTS (工場出荷時の初期状態) まで回し、コントロールを押します。
- SELECT コントロールを WIPE PATCHES (ワイブパッチ) まで回し、押して確定します。

“PLEASE WAIT” (お待ちください) と表示されます。画面が戻ったら、COMPARE (比較) を 2 回押してメニューを終了します。

キャリブレーション

- SHIFT を押してから、GLOBALS を押します。
- Recalibrate (再キャリブレート) を選択します。
- SELECT を押して開始します。
- キャリブレーションの終了を待ちます。

JP 技術仕様

シンセサイザーアーキテクチャー	
ボイス数	16 ボイス バイティンバー
タイプ	アナログ
Oscillators (オシレーター)	32
LFO	2
VCF	1x ローパス、2 極式または 4 極式 (12 dB または 24 dB/オシレータースロープ) 切替式
Envelopes (エンベロープ)	VCA, VCF
接続	
MIDI 入力/出力/スルー	5 ピン式 DIN/16 チャンネル
USB (MIDI)	USB 2.0、タイプ B
メイン出力	2 x ¼ インチ TRS、バランス、最大 22 dBu
インピーダンス	50 Ω
ヘッドフォン	¼ インチ TRS、ステレオ、最大 25 mW dBu
インピーダンス	25 Ω
フットペダル	
Vibrato (ビブラート)	¼ インチ TRS、バランス
Filter (フィルター)	¼ インチ TRS、バランス
フットスイッチ	
Sustain (サステイン)	¼ インチ モノラル
Program advance (プログラムアドバンス)	¼ インチ モノラル
Hold (ホールド)	¼ インチ モノラル
USB	
タイプ	クラスコンプライアント USB 2.0、タイプ B
対応オペレーティングシステム	Windows 7 以降 Mac OS X 10.10 以降
Manual (マニュアル) 部	
コントロール	Volume (音量): 0 - 255 Balance (バランス) Master tune (マスターチューン)
スイッチ	Auto (オート) Chord (コード)
Control (コントロール) 部	
コントロール	Portamento (ポルタメント) OSC 2 Detune (オシレーター 2 デチューン)
スイッチ	Unison (ユニゾン)

Arpeggiator (アルペジエーター) 部	
コントロール	Rate (レート) Settings (設定)
スイッチ	Hold (ホールド) On (オン)
LFO 部	
コントロール	LFO Rate (LFO レート)
スイッチ	Waveform (波形) Sine (サイン波) Inverse Sawtooth (逆ノコギリ波) Square (スクエア波) Sawtooth (ノコギリ波) Sample & hold (サウンドアンドホールド) Trig (トリガー) SMP
Modulation (モジュレーション) 部	
コントロール	OSC 1 depth (オシレーター 1 デプス) OSC 2 depth (オシレーター 2 デプス) OSC 1 freq (オシレーター 1 周波数) OSC 2 freq (オシレーター 2 周波数) Filter freq (フィルター周波数)
スイッチ	OSC 1 PWM (オシレーター 1 パルス幅モジュレーション) OSC 2 PWM (オシレーター 2 パルス幅モジュレーション) Volume mod (音量モジュレーション)
Oscillator (オシレーター) 部	
コントロール	Frequency 1 (周波数 1) Pulse width (パルス幅) Frequency 2 (周波数 2)
スイッチ	ノコギリ波 1 パルス波 1 Sync OSC 2 (シンク オシレーター 2) F-ENV (エンベロープフォロー) OSC 2 ノコギリ波 2 パルス波 2 Shift (シフト)
Keyboard (キーボード) 部	
スイッチ	Split (スプリット - キーボード) Double (ダブル - キーボード) Lower (下部 - キーボード) Upper (上部 - キーボード)
Sequencer (シーケンサー) 部	
スイッチ	Rest / tie (レスト/タイ) Record (レコーディング) Stop (ストップ) Play / pause (プレイ/一旦停止)

Filter (フィルター) 部	
コントロール	Frequency (周波数) Resonance (レゾナンス) Modulation (モジュレーション) Noise (ノイズ)
スイッチ	OSC 1 (オシレーター 1) Half OSC 2 (ハーフ オシレーター 2) Full OSC 2 (フル オシレーター 2) 4 Pole (4 極性) Track (トラック)
Envelope (エンベロープ) 部	
コントロール	Attack (アタック - エンベロープ) Decay (ディケイ - エンベロープ) Sustain (サステイン - エンベロープ) Release (リリース - エンベロープ) Attack (アタック - フィルター) Decay (ディケイ - フィルター) Sustain (サステイン - フィルター) Release (リリース - フィルター)
Programmer (プログラマー) 部	
コントロール	Select (セレクト) エンコーダー Compare (コンペア - 比較) Manual (マニュアル - 手動) Write (書き込み) Preset / value - (プリセット/バリュウー -) Preset / value + (プリセット/バリュウー +)
ディスプレイ	2 x ライン、16 桁 LCD ディスプレイ
Assignable Preset Recall (アサインابلプリセットリコール) 部	
スイッチ	1 / USB / MIDI 2 / Vel / aft (ベロシティ/アフタータッチ) 3 / Voice (ボイス) 4 / Mod (モジュレーション)

キーボードおよびコントロール類	
ホイール	ピッチ モジュレーション
コントロール	Rate (レート) Depth (デプス) Waveform (波形) OSC 1 mod (オシレーター 1 モジュレーション) OSC 2 mod (オシレーター 2 モジュレーション) OSC 2 only (オシレーター 2 のみ ベンド) Amount (量 - ベンド) Transpose down (トランスポーズ 下) Transpose up (トランスポーズ 上)
スイッチ	三角波 スクエア波 ノコギリ波 逆ノコギリ波 ランダム S/H (サンプルアンドホールド)
LED	
キーボード	61 フルサイズ鍵盤 ベロシティおよびアフタータッチ対応
所要電力	
電源コネクター	標準 IEC レセプタクル
消費電力	最大 55 W
内部スイッチモード PSU	オートレンジ 100-240 V, (50/60 Hz)
LED	電源
物理的情報	
標準使用温度範囲	5°C - 45°C
サイズ (高さ x 幅 x 奥行き)	109 x 1045 x 350 mm
重量	11.7 kg (25.79 lbs)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MusicTribe ディーラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MusicTribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You